

生活

生活にナニカト役立つ連載コラム
つぶやき「がんちゃん」の
知恵袋



Vol-19



■プロフィール
さいとう ひろかつ
齋藤廣勝
株式会社
トータルライフサポート代表取締役
日本FP協会会員

■CFP・サークルファイナンシャルプランナー
■1級ファイナンシャルプランニング技能士
■日本商工会議所 年金・退職金等認定講師
■住宅ローンアドバイザー

保険と暮らしの相談センター

お気軽にご相談ください。

- 家計の管理 ●お金の運用
 - 保険やローンの選択・見直し
 - 年金 ●教育 ●住宅、相続etc…
- 皆様の生活設計をより良いものにするためのお手伝いをいたします。

**株式会社
トータルライフサポート**
TEL 010-0916 秋田市泉北3丁目17-22
●営業時間：9:30～19:00 ●定休日：水曜日
018-827-7611
018-827-7610
<http://tls-akita.co.jp>

無料相談会
受付中!

保険と家計の
まるごと診断致します。



**必要性は人によつて
大きく異なる?**

「良い生命保険を紹介してください。」と相談されることが時々ある。しかし、良い生命保険は存在しない。なぜなら、人によつて良くもなれば無駄になるからだ。本来、生命保険は生きかたを考えた延長線上にあるため、ます

「そもそも生命保険は
何のために?」

無駄な保険料を払わないためにも、改めて生命保険の必要性を考えねばならない。

生命保険の目的を一言で言ってしまえば、「予測されるリスクにおける経済的損失を補うもの」と言える。自動車保険のような、賠償を主とする場合の必要保険に大差はないが、人を被保険者とする場合は十人十色であり、生命保険こそオーダーされるべきものなのである。目的の種類は死亡や入院に限ったことではない。子供の教育資金や老後への備えなどにも活用できる。

今月のテーマ

“二大固定費の削減、パートII” 生命保険編(概論から)

今月のつぶやき

二大固定費の片割れである生命保険料の削減に手を付けるが、いざ“生命保険”といつても何か始めて良いのやら…!?ん…!?と迷う位に奥が深いのだ。単に生命保険料を減らすだけなら簡単だが、家族が安心できる保障を確保出来ていないのであれば元も子もない。それに厄介なのは、ご自身の加入している生命保険の内容を、多くの方が理解していないということだ。意外や意外、付き合いや義理などで加入している方が実に多い。生命保険は誰のために加入するのだろうか？保険外交員のため…？

生命保険文化センターの調査(平成18年度)によると、日本における生命保険の年間保険料の世帯平均は、52.6万円にものぼるそうだ。30年後にはなんと1,578万円にものぼる。住宅の次に高い買い物と言われているゆえんがこれだ。その生命保険が必要性の薄いもので、最終的に泡となり消えてしまうとしたら…!?それでも、皆さんは我慢できますか？

以前、「証券が十数枚にものぼり、何の保障にどれだけ入っているのか分からぬので見て欲しい」と依頼を受け、ある家庭の現状分析をしたことがある。その結果はどれも嘆然とするものばかり。なんと、17歳の女の子に1億5千万もの保険が掛けられているものもあった。当のご本人はそれを見て「この親父、娘をどうにかして保険金を…。と言われても仕方がねえな…。」と。

生命保険の見直しは時として10万・20万どころか、数百万にも及ぶことも珍しくない。

まずは、保障の目的と必要性を考えることから始めよう。



**必要性は人によつて
大きく異なる?**

「良い生命保険を紹介してください。」と相談されることが時々ある。しかし、良い生命保険は存在しない。なぜなら、人によつて良くもなれば無駄になるからだ。本来、生命保険は生きかたを考えた延長線上にあるため、ます

「そもそも生命保険は
何のために?」

無駄な保険料を払わないためにも、改めて生命保険の必要性を考えねばならない。

生命保険の目的を一言で言ってしまえば、「予測されるリスクにおける経済的損失を補うもの」と言える。自動車保険のような、賠償を主とする場合の必要保険に大差はないが、人を被保険者とする場合は十人十色であり、生命保険こそオーダーされるべきものなのである。目的の種類は死亡や入院に限ったことではない。子供の教育資金や老後への備えなどにも活用できる。

人によって大きく異なるサイズ

それぞれの目的・必要保障額・保障期間を明確にしなければならない。また、生命保険探しの前には、個別に存在するリスクをチェックせねばならない。そのプロセスを飛ばしての生命保険加入は、オーダーステップを探さないまま仕立てるようなもので、とても無謀なことだ。

そうならないためにも、それぞれ生命保険の必要性を次の表でチェックしてみてほしい。

保障リスク	目的	チェック
万が一(死亡時)のリスク	<ul style="list-style-type: none"> ・葬儀費用 ・家族の生活費 ・子供の育英資金 ・ローンの返済 ・相続・遺産分割 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
病気・怪我の保障	<ul style="list-style-type: none"> ・入院・手術費用の支払い ・先進医療費用の支払い ・所得の減少 ・差額ベット(個室)費用 ・がん治療費(抗がん剤・放射線) 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
退職・老後の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・不足する老後の生活費 ・退職金の準備 ・介護費用 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
お子様の教育費等	・進学費用の準備	<input type="checkbox"/>

必要な保障期間は それぞれ違う

目的がそれぞれ異なるように、必要とする保障期間もそれぞれに違う。万が一に備える場合も、家族のための生活費・子供の育英資金・ローンの返済資金・葬儀費用などなど、それまでの目的で必要とする期間が異なる。長すぎると生命保険料が高くつくし、短いとその後の更新により生命保険料の上昇をしてしまう。長すぎても短かすぎても無駄な生命保険料を負担することになってしまふのだ。

要するに……

生命保険料の節約は、なかなか一長一短で当然に異なってくるため、生命保険に標準サイズはない。お母さんが子供の服や靴を「すぐ大きくなるから」といつて、わざと大きいサイズを買うのは訳が違う。

予測される損失以上の保障があると言うことは、無駄な生命保険料を負担することになる。それが、必要な保障が確保されていない場合的外れであり、論外といえる。

大きすぎても、小さすぎてもいけないのは当然だし、保険料をたくさん払っているから良い生命保険、安心な生命保険とは言えないのだが、実際の契約内容は「どう、サイズが合わなかつたり、量が多すぎたり」と問題を抱えているケースが少なくない。最も不幸なのは、それらの問題に気づきもしないまま、日々と間違った道を走り続けていることである。トンネルを抜けるとそこは……

来月号は……

今回は概論でしたが、来月号からは具体的な解説を致します。皆さん、加入中の証券・設計書、それに虫眼鏡を準備して待機してください。え? 虫眼鏡を何に使うかって。それは、ちーちー字で書かれている大事なところを見逃さないためです。

